

東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に関する第1回現地調査結果について

平成23年 6月20日

福島県原子力安全対策課

事故の収束に向けた道筋（ステップ1）の進捗状況の確認のため、県と大熊町、双葉町は、事故後初めてとなる現地調査を実施しましたが、その結果は下記のとおりです。

記

1 確認状況

- (1) 日 時 平成23年6月18日（土） 午前8時30分～午後1時
- (2) 場 所 福島第一原子力発電所、Jビレッジ
- (3) 確認者 福島県 荒竹生活環境部長、小山原子力安全対策課長、他3名
大熊町 秋本企画調整課長、他1名
双葉町 平岩企画課原子力対策係長、他1名

2 確認結果

- 4月17日に東京電力が公表した「事故の収束に向けた道筋」（工程表）の2ヵ月目の進捗について、これまでに稼働した設備等の状況を中心に確認した。
 - ・淡水化処理水一時貯蔵タンク（高濃度汚染水処理設備の一部）
 - ・逆浸透膜方式淡水化装置（高濃度汚染水処理設備の一部）
 - ・循環型海水浄化装置（2・3号取水口）
 - ・2号機使用済燃料プール代替循環冷却装置（2号機原子炉建屋西側）
 - ・5、6号機低濃度滞留水の仮設貯蔵タンク（6号機北側）
- 工程表については、前倒して進捗した対策、予定どおり進捗していない対策があり、一概に順調とは言えないものの、大きな欠陥があつて進捗が見られないといったところはない。
- 今後の課題として、早急な対策の実施を東京電力に求めた。
 - ①高濃度汚染水の浄化において発生する汚泥の処理
 - ②降雨に伴う高濃度汚染水の発生への対応
 - ③線量の高いがれきの撤去、処理

※1～4号機周辺については高線量のため車内からの調査とした。



循環型海水浄化装置
(2・3号取水口付近)



2号機使用済燃料プール代替循環冷却装置
(2号機原子炉建屋西側)



1号機のガレキ撤去作業
(1号機原子炉建屋西側)



ガレキへの飛散防止剤（緑色）
の散布状況
（2・3号取水口付近）



5、6号機低濃度滞留水の仮設
貯蔵タンク
（6号機北側）



5、6号機取水口付近の津波被
害状況
（5、6号機取水口）